

直接投入型ディスポーザエリアで実演展示を開催

2018年11月27日

企画広報委員会

当協会では発足以来、ディスポーザと台所排水を敷地内の処理槽で浄化して下水道に放流する「ディスポーザ排水処理システム」の普及促進に努めて参りました。その効果もあり、2018年度には都市部のマンションを中心に累計で67万戸の住戸にディスポーザが設置されるまでに至りました。

当協会としては引き続き同システムの普及促進を進めると共に、設置済のディスポーザ排水処理システムを適切に稼働させるために、交換時期を迎えた8～10年以上経過したディスポーザに対する買替手順の明確化や、当協会が構築した維持管理のしくみの認知向上と運用拡大に注力して参ります。

一方わが国の貿易資料によりますと、輸入ディスポーザ台数は年間4万台程度とされ、この台数は、上記のディスポーザ排水処理システムで新設されるディスポーザとほぼ同数にまで達しております。

この状況を踏まえ、当協会の活動目的である「ディスポーザを用いた生ごみ処理システムの適正な運用と普及」をさらに強化していくため、排水処理槽無でディスポーザを直接下水道に接続し下水処理場で適切に処理を行う直接投入型ディスポーザの実施エリアについても、「正しいディスポーザの使い方」についての認知を高める活動を開始いたしました。

このたび、本活動の一環として、秦野市市民の日と藤枝市の住宅展示場において、各自治体の下水道部門様のご協力を賜り、実際に生ごみを破砕する実演展示会を開催いたしましたので下記にご報告いたします。

1. 秦野市 市民の日での実演展示会

秦野市市民の日は、豊かな自然の中で市民一丸となり潤いある地域社会を創造することを目的に今年で39回目を迎える市民の手作りイベントで、11月3日に秦野市カルチャーパークで開催されました。当日は秦野駅や渋沢駅からシャトルバスが運行され、13万人の人手となるなど秦野たばこ祭りに次ぐ大イベントとなっております。ディスポーザ実演展示は、シャトルバスが到着して最初のエリアである秦野市文化会館駐車場の上下水道局のテントの一角をお借りして実施いたしました。

本実演展示の結果を表1にまとめました。

表1 秦野市市民の日ディスポーザ実演展示会結果

項目	内容
日時	2018年11月3日 10:00～15:00
天気	晴時々曇り 一時雨
場所	秦野市文化会館 駐車場
説明者数	161名 (小学生以下を除く)
実演回数	50～70回 (準備厨芥数より算出)
実演内容	・人参を破砕し、透明配管内を排水する ・複数メーカーのディスポーザで構造等を確認いただく
実演説明員	常駐4名に午前1名、午後3名を加えた総勢8名
資料配布数	70部

昨年は、水を流してディスポーザを動かす展示を行い、説明者数は70名程度であったと聞いておりましたので、今回は161名と昨年の2倍以上の方に説明し、配布資料は想定していた50部を大きく上回る70部と大変盛況な結果となりました。

今回は、厨芥（人参）を破碎して透明配管に流し、ディスポーザ破碎後の排水が管内をスムーズに流れる様子を見ていただいた展示についての反響が大きく、「こんなに細くなるの」といった感想とともに、「どの地区でディスポーザを設置できるの」といった具体的な問合せを数多くいただきました。

また、「ディスポーザは高価ですよ」といった反応もあり、その際には秦野市様からご提供いただいたチラシを示し補助金の説明を行いご納得いただくケースもありました。

特に、ディスポーザ展示場所隣の秦野市上下水道局様のお絵かきペットボトルに参加された親子に対しディスポーザ展示を見ていただくよう秦野市職員様に誘導いただいたことで、多くのご家族の方に説明することができました。

今後の改善点としましては、写真3にありますように、ご家族での見学者が多いので、お子様用のノベルティ等を準備し、家族全員に興味を持っていただけるよう進めていきたいと考えております。

2. 藤枝市 住宅展示場での実演展示会

秦野市市民の日の翌日、SBS マイホームセンターの藤枝展示場でディスポーザの実演展示会を開催いたしました。

SBS マイホームセンターは静岡県内に10か所（御殿場、三島、富士、静岡東、静岡、藤枝、榛南、掛川、袋井、浜松）、年間で約230,000人の方が来場している静岡県最大の総合住宅展示場です。

今回は、展示場イベントに伴い、直接投入型ディスポーザを実施している藤枝市下水道課のご協力を賜り、秦野市と同じく、実際に厨芥を破碎して透明配管に排水する実演展示を実施いたしました。

実演結果を表2に掲げます。

本展示は住宅展示場での開催とのことから、実際に住宅購入を計画しているユーザー様やハウスメーカーの関係者様に直接ディスポーザを訴求できることから、秦野市市民の日とは異なる反響を期待いたしましたが、同会場での行われた芸能ショーの影響もあって、15組の見学者への説明にとどまりました。



写真1 秦野市ディスポーザ展示状況



写真2 秦野市透明配管排水展示



写真3 秦野市実演展示説明状況



写真4 藤枝市実演展示状況

しかし、藤枝市での直接投入型ディスプレイの実施は、本年4月から開始され未だ日が浅いこと、芸能ショー目当ての来場者が多かった等の状況であったにも関わらず、密度の濃い説明を実施できたことで、十分な手ごたえを感じることができました。

3. まとめ

直接投入型ディスプレイの成功自治体では、市のイベントでの実演展示と併せ公民館での料理教室でディスプレイを参加者に実際に使っていただく活動を継続していると聞いております。

したがって、秦野市のように、大イベントで多数の消費者に訴求を行って全体的な底上げを行うとともに、藤枝市のように、住宅購入との明確な目的をもった方々に密度の濃い展示や会話を行うことも必要であると考えております。来年度以降も引き続き、同様の活動に対し当協会として積極的に取り組んで参りたいと存じます。

表2 藤枝住宅展示場ディスプレイ実演展示会結果

項目	内容
日時	2018年11月4日 10:00~14:00
天気	晴時々曇り
場所	SBSマイホームセンター藤枝展示場
説明者数	15組
実演内容	野菜を破碎し、透明配管内を排水する
実演説明員	3名

以上